



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月25日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社キリン堂

コード番号 2660 URL <http://www.kirindo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺西 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 井村 登

TEL 06-6394-0039

四半期報告書提出予定日 平成24年12月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年2月16日～平成24年11月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	75,772	△0.4	834	0.9	1,107	△2.1	632	—
24年2月期第3四半期	76,083	2.4	827	236.0	1,131	117.6	43	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 643百万円 (—%) 24年2月期第3四半期 36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	55.82	—
24年2月期第3四半期	3.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	42,229	10,743	25.2
24年2月期	41,664	10,326	24.5

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 10,623百万円 24年2月期 10,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年2月期	—	10.00	—		
25年2月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月16日～平成25年2月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,300	3.0	1,880	11.6	2,210	12.7	760	311.3	67.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社ニッショードラッグ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	11,332,206 株	24年2月期	11,332,206 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	1,086 株	24年2月期	1,061 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	11,331,139 株	24年2月期3Q	11,331,205 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に緩やかな景気回復基調がみられたものの、欧州を中心とした世界経済の減速や円高の長期化、日中関係の悪化等に加え、国内の政治情勢に対する不安などにより、先行きの不透明感が増す状況となりました。

当社グループの属するドラッグストア業界では、お客様の低価格志向・節約志向が継続する中、業種・業態を越えた競争の激化も相まって厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」の確立をスローガンに掲げ、商圏内のお客様にとって便利で買いやすい売場づくり、セルフメディケーションの受け皿となる「かかりつけ薬局」としての機能を充実させるなど、顧客第一主義の店づくりを推し進めております。さらに、業態間競争に勝ち抜く収益基盤の確立を図るため、経営効率改善に注力しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き、従業員の意識改革を図るための教育を徹底するとともに、既存店の活性化（徹底したセルフサービス売場づくりとライトカウンセリング販売体制づくり、固定客づくり、プライベート・ブランド商品への取り組み強化）と調剤事業の強化に努めてまいりました。

さらに、当社グループの小売事業の統合により、営業政策の徹底や経営資源の再配置等を図り効率化を進めるため、当社連結子会社である㈱ニッショードラッグが同じく連結子会社である㈱ジェイドラッグを吸収合併（合併期日：平成24年2月16日）した後、当社が㈱ニッショードラッグを吸収合併（合併期日：平成24年8月16日）いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

＜小売事業＞

小売事業におきましては、既存店の活性化対策として、5店舗の改装を実施したほか、62店舗において、レイアウト変更等の簡易改装を実施いたしました。また、カウンセリング販売に継続して取り組むほか、店舗特性・顧客ニーズに合わせた販促手法の再構築などを行ってまいりました。

売上高につきましては、調剤部門及び化粧品の販売伸長などにより、当第3四半期連結会計期間は前年同期を上回りましたが、上半期における前年の震災特需の反動や春先の花粉飛散量の減少等による影響を受けたことから、当第3四半期連結累計期間では減収となりました。

利益面につきましては、粗利率改善並びにコストコントロールを経営の根幹に置き、収益の確保に努めた結果、当第3四半期連結会計期間は前年同期を上回りましたが、上半期の減少を補うには至りませんでした。

出退店におきましては、スーパードラッグストアとして、平成24年4月の中河原店（大阪府茨木市）を含め大阪府2店舗・兵庫県1店舗・滋賀県1店舗の計4店舗、小型店として、兵庫県1店舗・神奈川県2店舗の計3店舗、合計7店舗の出店を行いましたほか、スーパードラッグストア1店舗、小型店1店舗、F C店1店舗を閉店いたしました。また、同年5月に有限会社大賀薬局から調剤薬局3店舗の譲受を行いました。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の当社グループ店舗数は、以下のとおり（合計322店舗）となりました。

	前期末	出店等	閉店	当第3四半期末
スーパードラッグストア (内、調剤薬局併設型)	262 (26)	4 (2)	1 (-)	265 (28)
小型店 (内、調剤薬局併設型) (内、調剤薬局)	49 (3) (17)	6 (2) (4)	1 (-) (1)	54 (5) (20)
その他 (内、調剤薬局併設型)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)
F C店	3	-	1	2
合計	315	10	3	322

この結果、小売事業の売上高は753億87百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は11億23百万円（同1.0%減）となりました。

<その他>

医療コンサルティング事業におきましては、連結子会社である㈱ソシオンヘルスケアマネジメントが、在宅医療サポート&マネジメント事業を中心に堅調に推移いたしました。

また、卸売事業におきましては、競争激化による販売価格の下落等の影響を受け減収となったものの、中国の連結子会社の業績改善等により収益は増加いたしました。

この結果、その他の売上高は3億84百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は62百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高757億72百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益8億34百万円（同0.9%増）、経常利益は11億7百万円（同2.1%減）、四半期純利益は6億32百万円（前年同期は四半期純利益43百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億65百万円増加し、422億29百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加し、314億85百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億17百万円増加し、107億43百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成24年4月2日に発表した平成25年2月期の連結業績予想）から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である㈱ニッシュードラッグは当社を存続会社とした吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（退職給付引当金）

当社と連結子会社である㈱ニッシュードラッグは、平成24年8月16日付で当社を存続会社とする吸収合併を行ったことに伴い、同日付で㈱ニッシュードラッグの現行の退職給付制度である退職一時金制度を当社の退職給付制度である確定拠出年金制度及び前払退職金制度へ移行いたしました。この移行に伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第2号）を適用しております。

本移行に伴う影響額は、「退職給付制度終了損」として特別損失に1億13百万円計上しております。

なお、制度改定に伴って発生した未払金は、固定負債の「その他」に1億11百万円計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,505	5,826
受取手形及び売掛金	1,943	1,878
たな卸資産	11,582	12,051
その他	2,374	2,389
流動資産合計	21,405	22,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,290	6,664
その他(純額)	1,747	1,590
有形固定資産合計	8,037	8,254
無形固定資産		
のれん	2,276	1,947
その他	581	543
無形固定資産合計	2,857	2,491
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,046	4,076
その他	5,708	5,636
貸倒引当金	△392	△375
投資その他の資産合計	9,363	9,337
固定資産合計	20,258	20,082
資産合計	41,664	42,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,194	13,706
短期借入金	5,133	5,299
未払法人税等	972	4
賞与引当金	336	714
ポイント引当金	24	21
その他	2,155	2,095
流動負債合計	21,816	21,843
固定負債		
長期借入金	7,504	7,652
退職給付引当金	137	—
資産除去債務	983	1,005
その他	895	984
固定負債合計	9,520	9,642
負債合計	31,337	31,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,237	3,237
資本剰余金	3,223	3,223
利益剰余金	3,733	4,139
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,193	10,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	24
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益累計額合計	23	24
少数株主持分	109	119
純資産合計	10,326	10,743
負債純資産合計	41,664	42,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月16日 至平成23年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)
売上高	76,083	75,772
売上原価	55,897	55,663
売上総利益	20,186	20,108
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	7,368	7,542
賞与引当金繰入額	706	710
賃借料	4,177	4,094
その他	7,106	6,926
販売費及び一般管理費合計	19,358	19,274
営業利益	827	834
営業外収益		
受取情報処理料	287	283
受取賃貸料	217	232
その他	197	195
営業外収益合計	703	710
営業外費用		
支払利息	141	126
賃貸費用	209	211
その他	48	99
営業外費用合計	399	437
経常利益	1,131	1,107
特別利益		
固定資産売却益	2	—
貸倒引当金戻入額	2	—
その他	1	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
減損損失	41	44
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	590	—
退職給付制度終了損	—	113
その他	16	16
特別損失合計	649	174
税金等調整前四半期純利益	488	932
法人税、住民税及び事業税	797	383
法人税等調整額	△355	△94
法人税等合計	442	289
少数株主損益調整前四半期純利益	46	643
少数株主利益	2	10
四半期純利益	43	632

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月16日 至平成23年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46	643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△0
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△9	0
四半期包括利益	36	643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33	633
少数株主に係る四半期包括利益	2	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年2月16日 至平成23年11月15日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	(注) 1			
売上高					
外部顧客への売上高	75,697	386	76,083	—	76,083
セグメント間の内部売上高又は 振替高	0	399	399	△399	—
計	75,697	785	76,483	△399	76,083
セグメント利益又は損失(△)	1,134	△15	1,119	△291	827

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△291百万円には、セグメント間取引消去38百万円、のれんの償却額△327百万円及び営業権の償却額△2百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	(注) 1			
売上高					
外部顧客への売上高	75,387	384	75,772	—	75,772
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	565	565	△565	—
計	75,387	949	76,337	△565	75,772
セグメント利益	1,123	62	1,185	△350	834

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△350百万円には、セグメント間取引消去11百万円、のれんの償却額△342百万円及び営業権の償却額△20百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)	対前年同四半期増減率 (%)
小売事業 (百万円)	75,387	△0.4
その他 (百万円)	384	△0.6
合計 (百万円)	75,772	△0.4

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)			
	売上高 (百万円)	対前年同四半期 増減率 (%)	構成比 (%)	
商品売上高	医薬品	14,244	△3.1	18.9
	健康食品	3,359	△1.1	4.5
	化粧品	19,504	1.2	25.9
	育児用品	2,139	△14.2	2.8
	雑貨等	30,347	△0.7	40.2
	計	69,595	△1.2	92.3
調剤売上高	5,563	10.8	7.4	
その他	229	△5.8	0.3	
合計	75,387	△0.4	100.0	

(注) 小売事業の「その他」は、社員販売売上高等であります。